

スペシャリストの仕事《特定認定看護師・認定看護師4分野4名》

スペシャリストとは、特定分野において深い専門知識やスキル、経験を持つ人材のことで当院では4名の特定認定看護師および認定看護師が、患者様やご家族様にあった看護を提供しています。お気軽にご相談ください

看護部長：牧野 真美

がん化学療法看護認定看護師：中村 吉孝

がん化学療法看護は、がん化学療法を受ける患者さんとその家族を支え、安全を守っていくことを使命としています。化学療法は複雑で不確実な部分も多くあります。その中で近年、化学療法の場は入院から外来へとシフトしています。その為患者さん及びご家族の方が病気を理解し、治療の副作用に対して予防・早期発見・対処を自宅で行う必要があります。私たちは患者さんの生活の視点から個別的、継続的なケアを提供し、患者さんのセルフケア能力を高めるように取り組んでいます。また、治療が安全に行えるように自主的な監査を継続して行い、安全で安心した治療が行えるように心がけています。

糖尿病看護特定認定看護師：平岡 めぐみ

糖尿病看護認定看護師は、糖尿病患者さんが生涯にわたり糖尿病とうまく付き合いながら、その人らしく生活していくためのサポートパートナーです。一人ひとりを身体・心理・社会的側面から幅広く捉え、その人のよりよい人生のために日々の生活の中で行える食事・運動・薬物療法と一緒に考えていきます。また、2020年に特定行為研修「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」を修了し、医師からの事前指示のもと「患者さんの生活に合わせたインスリン投与量の調整」を行うことが可能となりました。患者さんの身体状況を把握し、生活状況やさまざまな思いに合わせたタイムリーなインスリン調整をご提案できるように日々努力しています。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師：櫻井 亜沙子

皮膚・排泄ケア看護（Wound Ostomy and Continence Nursing）とはストーマ造設や褥瘡及び排泄障害に伴い生じた問題やケア相談を専門的な視点からアセスメントを行い、個人に適した排泄管理や適切な皮膚ケアを実践・指導します。清潔排泄は人間にとって基本的な生活行動であり、本人や家族が望むニーズに少しでも応じられるように、医師、担当看護師、栄養士、薬剤師、または地域医療に従事している方々と連携をとっています。より快適な日常生活を過ごしていただけるよう、専門的な観点からサポートができればと考えています。

訪問看護認定看護師：東川 亜依子

訪問看護とは、病気や障害を持っていても住み慣れた地域、我が家で自分らしい生活を送りたいと願う方々を支援するサービスです。サービスの内容は病状の観察から身体の保清、食事や排泄の援助、リハビリ、在宅酸素などの医療機器の管理、認知症ケアががん末期などを含む終末期ケア、その他ご家族様の介護相談の対応と幅広いサービスを提供させていただいております。訪問看護師が利用者様のお宅に訪問し、医師の指示のもと関係職種と連携をとりながら在宅療養を総合的に支援いたします。在宅での生活は病状の進行による苦痛や将来の不安、介護疲れなど様々な問題が生じてきます。それでも自分らしく納得のいく生き方をしたい、そんな思いを大切にしながら地域の方々の生活のお手伝いをさせていただいております。



看護部マスコットキャラクター
はなももちゃん



かんごちゃん